

全日本ダートトライアル選手権 北村和浩選手(CMSC岐阜)第5戦優勝! 今季3勝目。シリーズチャンピオン決定!

'94全日本ダートトライアル選手権第5戦「第15回DCCSダートトライアル」が7月10日(日)栃木県黒磯市の「丸和オートランド那須」で行われました。エントリーは120台。8クラスでそれぞれが覇を競いました。

AIVクラスでは今季すでに2勝をあげて絶好調のCMSC岐阜の北村和浩選手が出場。参加16台中13台のエボリューションIIが優勝を狙いました。

今回は10日(日)ワンデーの戦いとなり、時折強く雨が落ちてくる梅雨型の天候の中、第1ヒートがスタート。CMSC群馬の荒井選手が12番スタートから1分59秒82と、唯一2分台を切りトップにたちました。そして第2ヒート。雨も一時的にあがり、路面は固くしまってドライと変わらないグリップとなりました。逆転を狙ってのトライもなかなか2分台を切る記録は出ず、荒井選手も2分0秒95と足踏み。しかし、その中で北村選手が果敢なトライ。1分59秒76の好タイムを叩きだし、わずか0秒06差の見事

な逆転劇。「過去にこれ以上考えながら攻めたことはない。苦手な丸和で勝てたことは非常にうれしい。最近、精神的にも安定して、落ち着いた走りができるようになってきた。それにエボリューションIIのセッティングもきまってきたりして乗りやすく相性がぴったりになってきた。これで今季3勝目。このあとも息を抜くことなくトライし続けます。」と喜びのなかにも冷静なコメント。

CMSC勢は、荒井選手が2位。3位に宝田選手が入って、またまた1~3位を独占。しかも、8位までに7人が入るといふ強さでした。

また、第6戦では2位に入り、シリーズチャンピオンを決定しました。



CMSC大阪 吉村 修

全日本ダートトライアル選手権

'94全日本ダートトライアル選手権は4戦まで終了し、わがランサーE V IIはもう一つ自分好みのセッティングができないというあせりの中でしたが、第4戦では3位に入賞し、今回こそ優勝を目指して7月10日丸和オートランド那須に乗り込んだのでした。今回は全日本ダートトライアル選手権では珍しく

緊張感がたまらないAIVクラス

予選無しのワンDAYで行われ、いつもと勝手が違いました。1本目、弱ウェットコンディションの中、外周はうまく走れるが、フルターンで今回から入れた強化タイプのセンターゼフの為サイドブレーキが使えず、曲がりきれずに8位。2本目、各車タイムアップする中で、今回の勝負どころとなったフルターンでまたもや曲がれず結局6位となりました。

全日本の超激戦区であるAIVクラスは一瞬のミスも許されません。しかしこの緊張感がたまらない。全日本ダートトライアル選手権も残り3戦。もっと



もっと練習して優勝を目指しがんばります。

CMSC青森

6月26日、
7月17日

ジムカーナシリーズ第2、3戦

人気のクローズド部門

'94CMSC青森ジムカーナシリーズ第2、3戦が予定通り開催されました。今年から設けたクローズド部門の参加者も多く、その人気ぶりを窺わせました。

競技の方は慣熟歩行を十分にとり、ミスコースを

少なくし、走行も最初の1本目を練習走行とし、本走行を2本行い、選手からは好評でした。競技終了後の表彰式も、各クラス1位によるシャンペンシャワーを行うなど、最後まで楽しいシリーズ第2、3戦でした。(CMSC青森 鶴ヶ谷 慶市)

CMSC香川

8月27日、28日

CMSCダイアスターラリー

今年のCMSC香川のラリーは、F・G地区地方選手権ラリー第5戦として'94CMSCダイアスターラリーを開催しました。参加台数は47台と今年度のF・G地区の平均は上回りましたが、3年前までの60台フルグリッドから比べると淋しい思いです。

さて競技の方は、去年の公約通りSSを4本、約

本年の主催イベント無事終了

15km設定しました。結果はBクラスはゼッケン26の竹之内、大仲組のミラージュが、Cクラスはゼッケン44の二野下、梶山組のギャラン(今までは名前の通り3位までだった)が優勝しました。

CMSC香川主催のイベントは今年これで終了しました。来年は10月7、8日に全日本ダートトライアル選手権第8戦'95CMSCダイアスターラリーを予定しています。皆様の御協力を宜しくお願いします。

(CMSC香川 白井 修)



CMSC千葉 勅使川原 光

'94ニュージーランドラリー

昨年に続いてアジア・パシフィックラリー選手権の第2戦、WRC第7戦「第24回ニュージーランドラリー」に参加しました。ニュージーランドの北島オークランド市をスタートしてロトルアを折り返しオークランドにゴールする総走行距離1825.13kmで行われるこのラリーは、ニュージーランド特有の牧草地を縫うような高速旋回を中心としたグラベル主体で、ドライバーのテクニックと車の完成度の高さが要求されるラリーです。

第1レグでは、17位、第2レグでは13位そして最終的には総合12位、Nクラス4位という成績をおさめることができました。ラリー中は終始2~4位で競り合っていたのですから、2年目にしてこの成績は十分満足しています。

スポンサーの方々や自費で来てくれたサービス隊の皆さん、そして現地ヘルパーの人達。いろいろな人達に支えられての結果だと感謝しています。本当にありがとうございました。

WRC総合12位。Nクラス4位。



資金的な問題がクリアできれば、来年はNクラス優勝を狙いたいと思ってます。

CMSC青森 8月27日、28日

'94ツールド東北

全国的な猛暑、水不足の中、JMRC東北ラリーシリーズ第4戦「ツールド東北」が開催されました。今年1月22、23日、B.C地区第1戦を終えてから約7ヶ月後のラリー開催でしたが、8年ぶりの夏のラリーでクラブ員も緊張さみ。冬のラリーとは違うコース設定に今までとは違う別な感覚で当たらねばならず、暑さと相まってラリー前に少々疲れさみでした。特にラリーコース（SSコース）の草刈りには3日間延べ24名のクラブ員が、暑さを避け早朝4時からコース整備に汗を流しました。ラリーを成功させようというクラブ員のがんばりと熱意に心から敬

早朝のコース整備が報われた大会

意を表したいと思います。

さて東北シリーズ戦ということで参加台数の減少を心配しましたが、予想を上回る46台の参加を得、今回から新たな集合地点となった岩木山総合公園でスタートを待ちました。ラリーはダートSS3本、舗装SS1本を含む約220km、特に舗装SSは約8kmのヒルクライムで参加者に好評でした。今後も出来ればラリーに取り入れたいと思



ます。久々の夏ラリーでオーガナイズもかなり神経を使いましたが大きな事故もなく終えることが出来ました。事前準備から当日まで頑張ってくれたクラブ員の協力と、関係各位のご協力、ご支援のおかげと感

謝しております。今後もクラブ活動の一つとしてラリー開催を続けて行きたいと思っておりますので、ご支援の程よろしくお願い致します。

(CMSC青森 鶴ヶ谷 慶市)

CMSC島根 8月1日

チャレンジカップ・ダートトライアル

「古池や 車飛び込む 水の音」

昨年は試走車がいきなり大転倒をし、大爆笑（大悲劇？）のうちにスタートしたCMSC島根チャレンジカップ・ダートトライアルでしたが、今年は前日のコース作りでいきなりランサーが「池ポチャ」でした。この酷暑に耐えかねて車も水浴びしたかったのでしょうか。

大会当日、会場の比田スポーツランド山陰も相変わらずの赤道直下型高温状態。汲み取り式トイレは

酷暑に車も水浴び



発酵し、慣熟歩行も千鳥足。オフィシャルもエントラントも頭の上にかげろうを立ち昇らせながらの大会でしたが、平均2分20秒のロングコースを40数台が大きなトラブルもなく暑苦しい、いや熱い闘いを



演じてくれました。大会が終わってみれば、主催者も参加者も南の島の住人のようにこんがり日焼けしていた、'94のダートラでした。

(CMSC島根 古藤 浩美)